

令和2年度学校評価報告書(目標設定)

学校目標	取組の内容	
	具体的な方策	評価の観点
教育課程・学習指導 ①新学習指導要領に基づく教育課程編成を工夫し完成させる。また、履修指導のための履修モデルを作成し、履修の充実を図る。 ②ICTを生徒の「主体的・対話的で深い学び」のための道具として活用していく。	①各教科・分野やカリキュラム検討会議での検討を行い、新学習指導要領に対応した弾力的な教育課程を編成する。また、履修モデルを作成する。 ②G Suiteの研修会を2回実施する。ネットワーク環境での学習支援を行う。	①新学習指導要領の教育課程を編成できたか。また、履修モデルを作成し、「大きな時間割」の見直しと改善が行えたか。 ②ICTを活用するなど、生徒にわかりやすく迅速に情報提供できたか。G-Suiteなどのツールを利用し、生徒への学習支援が行えたか。
生徒指導・支援 ①（フレキシブルと自由を理解するための一つとして）挨拶の徹底や教育相談のしおりを活用した生徒指導を実践する。 ②学校行事や部活動を活性化し、生徒の責任感・連帯感を育成する。	①PTAと協働した挨拶運動の徹底と、年次、SC・SSWとの連携を図った支援を行う。 ②生徒実行委員会を中心に、生徒の意見を集約し、生徒主体で行事を実施する。部活動では、入部加入率を向上させるための取り組みを行う。	①「挨拶運動」を活用することができたか。昨年より教育相談を活用することができたか。 ②行事の振り返りを検証し、生徒が責任を持って活動し、協力しあえたか。部活動の入部加入率を向上できたか。
進路指導・支援 ①これまでの取り組んできたキャリア教育を精選する。 ②進路情報を生徒に有効活用させる。	①「進路の手引き」を履修ガイドと連携できるようなものに刷新していく。各教科で生徒のキャリア形成の視点を持った取り組みを行う。 ②G-suite等を積極的に活用し、生徒にわかりやすく迅速に情報提供できるようにする。	①「進路の手引き」の内容が履修ガイドに活かせたか。各教科で生徒のキャリア形成の視点を持った取り組みを行うことができたか。 ②ICTを活用するなど、生徒にわかりやすく迅速に情報提供できるようにできたか。
地域等との協働 ①外国につながりのある生徒を中心とした地域協働への協力体制を更に推進する。 ②学校広報活動を更に充実させて本校の学びに共感できる受験生増加を目指す。	①外国人支援教育を他校に拡大する。 ②広報活動の多様化を模索すると共に更にわかりやすい広報活動に努める。	①近隣高校と連携を図り、組織的運営を行うことができたか。 ②受験生増加に十分な広報活動、説明会の充実を図れたか。
学校管理・学校運営 ①職員、生徒、保護者の防災意識を高め、安心安全の態勢を整える。またICT等の整備を通じて生徒、保護者が安心できる学習環境を整える。 ②働き方改革の観点から業務の効率化を目指す。	①地域の環境を意識した実践的な防災訓練を構築する。また、非常時に安心できる防災備蓄体制を整える。またICT機器や研修を充実し、生徒が安心して学習できる授業環境を整備する。 ②組織や業務の見直しの適正化を図る。	①生徒が防災を自らの課題として意識できたか。防災備蓄体制を充実できたか。 ICT等を利用した授業の環境を整えることができたか。 ②働きやすい組織と業務の見直しを図れたか。